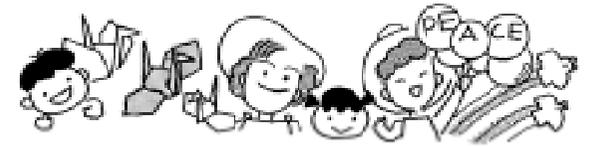


核兵器廃絶を求める 国際署名にご協力ください



みんなの力でNPT再検討会議を成功させましょう！

あなたの署名をニューヨークへ

いま、世界各地では、5月3

日から28日までニューヨークで
行われる核不拡散条約(NPT)

再検討会議にむけて、すみやかに核兵器禁止・廃絶条約の交渉を開始し、締結する事を求める「核兵器のない世界を」国際署名などに取組んでいます。

ニューヨーク行動には、日本各地から1200人を超える代表が署名を持参し参加します。

この京都からも60人を超える代表が参加します。

この署名は、630を超える自治体の首長をはじめ、多数の議会の議長や教育長さんなどが賛同を寄せ、被爆者、自治会役員さんなども協力してまちぐるみで署名にとりくむ経験が各地でひろがっています。

NPT再検討会議を、核兵器のない世界への転換をめざして具体的な一歩を踏み出させる機会とするために、あなたの署名をお願いします。

唯一の被爆国である日本政府が、核兵器廃絶のために確固とした市政が取れるよう、私たち国民が大きく声を上げましょう。



「核持ち込み容認」する
今の京都府知事

核兵器搭載能力
してきました。
体は、その都度、
る京都府知事に、
惑解明の申し入
かし府知事は
持ち込まれてい

が大きな問題と
日の米第7艦隊
しても、「政府
議の対象になっ
として、「核の
る」としました。
「外交・防衛問
すべき」と、自

日米政府は、50年前、核兵器を積んだ艦船の入港を容認する密約を取り交わしていた事が明らかとなりました。

1979年来、舞鶴港にある米艦船が度々入港。京都の労働組合や平和団舞鶴港の管理責任者である抗議を行うと同時に核疑れを行って来ました。し「政府を信じ、核兵器は
ません」と言うのみ。

今の知事は、「核密約」
なっていた昨年9月14
のイージス艦の入港に際
に照会したところ事前協
ていないと回答を得た」
確認をせず入港を認め

また、9月議会では
問題は国が一元的に行動
らの責任を放棄する答弁を行いました。府は府民の
安全を守る責任を果たすべきです。

沖縄名護市長に新基地建設反対の稲嶺氏

鳩山政権は

普天間基地の無条件撤去に踏み出せ

沖縄米海兵隊は、日本を守る「抑止力」ではない

米海兵隊は日本を守る「抑止力」ではありません。世界各地に軍事介入するさいの「殴り込み」部隊です。沖縄海兵隊は、イラク侵略やアフガニスタン報復戦争に出撃。2004年のイラク・ファルージャでの「掃討作戦」では、たくさんの住民を狭い地域に押し込め、逃げ道を閉ざしたうえで爆撃と地上攻撃を行い、多くの住民が虐殺されました。国際人道法にも違反する無法な殺りく行為です。

米政府自身も、海兵隊が日本防衛のための「抑止力」といったことはありません。ワインバーガー米国防長官は「沖縄の海兵隊は日本の防衛に当てられていない」（1982年4月）と証言。チェイニー米国防長官（91年4月）「世界的役割を果たす戦力投射部隊」と発言しています。

鳩山首相が、こうした事実を見ようとせず「抑止力」などというのは、事実をいつわるものです。「抑止力」と強調するのは、日米軍事同盟を絶対化し、海兵隊が沖縄に居座る事を正当化するためです。



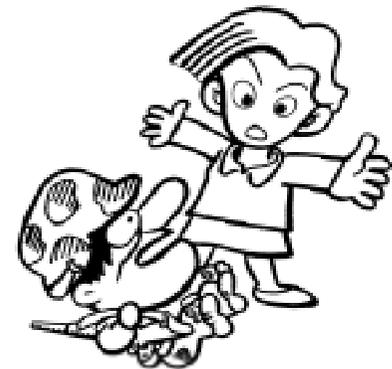
普天間基地は、米軍が沖縄占領後に住民を収容所に囲い込んでいる間に土地を奪ってつくり、さらに銃剣とブルドーザーで拡大した戦時国際法でさえ許されない産物です。戦後半世紀も犠牲を強いられてきた沖縄県民が無条件返還を要求するのは当然です。

無条件撤去の要求もせず、別の土地を差し出して返してもらおうという政府の態度は、主権意識のない、無責任で卑屈な態度です。いまこそ、基地で苦しんでいる沖縄県民の思いを尊重し、普天間基地の無条件撤去にこそ踏み出すことこそ政府の責任です。

普天間はアメリカに略奪された土地

米海兵隊普天間基地撤去に絡む新基地建設を争点にした沖縄名護市長選挙で、新基地建設反対、基地に依存しない地域振興を掲げた稲嶺進氏が当選しました。

選挙結果は、名護市辺野古への新基地建設を押し付けてきた日米両政府に対する断固とした審判であり、戦後60年以上も沖縄県民に犠牲を強いてきた政治の責任を問うものとなってきます。



基地なくす新しい流れ大きく